機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0120006	1.1.4.			登記所からの登記済通知書電子データを取り込み、土地登記情報を更新する際に、業務上、調査・確認が必要なデータ項目がある場合、エラー及びアラートとして通知できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0120007	1.1.5.	1		区分所有家屋と当該区分所有家屋の敷地の用に供する土地の納税義務者情報が連動していること。	標準オプション機能	
0120008	1.1.5.	2		区分所有家屋の所有者が変更された場合、自動的に当該区分所有家屋の敷地の用に供する土地の所有者も変更すること。	標準オプション機能	
0120009	1.1.5.	3		物件ごとに自動連携の可否を選択できること。	標準オプション機能	
0120010	1.1.6.			複数の土地を選択し、一括で所有者を変更できること。	標準オプション機能	
0120011	1.1.7.	1		閉鎖処理ができること。 閉鎖処理に誤りがあった場合、閉鎖処理そのものの履歴を維持したまま、閉鎖である旨のフラグを解除する処理（閉鎖解除）ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0120012	1.1.7.	2		土地登記情報マスタの閉鎖処理を行った際に、課税台帳も自動で閉鎖処理されること。	標準オプション機能	
0120013	1.1.7.	3		システム導入時に、自動で閉鎖処理をしない設定もできること。	標準オプション機能	
0120014	1.1.8.	1	分合筆処理	分筆・合筆処理（誤った処理を行った場合には、再異動により元の状態に戻すことが可能であること。）ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0120269	1.1.8.	2		分筆・合筆処理において、合筆によって地番が存在しなくなった筆については閉鎖とすること。 また、分筆・合筆処理に誤りがあった場合には、分筆により誤って作られた筆については閉鎖とし、合筆によって誤って削除された筆については閉鎖を解除できるようにすること。	標準オプション機能	
0120270	1.1.8.	3		分筆・合筆処理に係る異動履歴を削除できること。	標準オプション機能	
	1.2. 土地（補充）課税台帳管理					